長野県上田千曲高等学校関東同窓会　　令和3‐4年度臨時役員会議事録　　　　　　　　　　2021.11.5

議事録作成：関東同窓会事務局　坂田和夫

・開催日時：令和３年（２０２１年）１０月３１日（日）　１１：００～１２：２０

・開催場所：東京ボランティアセンター　１０Ｆ　会議室B

 **令和３‐４年度臨時役員会審議事項**

1. はじめに 中村事務局長より、本会議はコロナ禍により第４７回総会（R3.10.23予定）中止の為、R2-3年度事業報告及びR3-4年度事業計画案承認他を目的に、会則第21条に則り会長の諮問により実施するものである。本会議は本日参加者１１名、議事審議一任者６名、計１７名となり会議は成立する旨宣言。
2. 杉崎会長挨拶

　ここ２年同窓会の役員会、総会も開催できず、同窓会自体の中身、継続性が問われている。近年の同窓会の動向、本部とのやりとり等を含め、関東同窓会５０周年記念に向け実りある審議をお願いしたい旨挨拶。

３．Ｒ２－３年度事業報告及び決算報告について

　　　中村事務局長より、まず、Ｒ２－３年度事業報告を別紙「長野県上田千曲高等学校関東同窓会 事業報告書(令和2-3年度)」に基づき報告された。

特質すべき事業としては、関東同窓会のホームページが茂木委員長を中心に立ち上がったことが良かった。関東コラムへのリレーエッセーも第１１弾まで来ています。ＨＰは今後に期待できる。

　Ｒ２－３年度決算報告についても別紙報告書にて説明、新たに打ちだしている、「特別会員」の募集により新たに７名登録され、会の財政に貢献、また、高額寄付もあり、会運営の財政基盤も改善されつつある。

総会費については、１０月に総会が予定されるため、年度を跨ぐので総会費の金額は翌年度へずれる形になるので注意が必要である。

1. Ｒ２－３年度会計監査報告

　　　ここで塚田会計監査より、報告。本日１０：００～１１：００、ここ東京ボランティアセンター会議室B

にて、中村事務局長、坂田副事務局長立会いの下、Ｒ２－３年度決算報告に関し、帳簿、証憑書類等を照合、

監査を実施し、決算報告の結果に相違ないことを確認致しましたと、会計監査報告がなされました。

なお、本日参加されていない沢崎会計監査に原本を送付し確認して頂くことになっております。

1. Ｒ２－３年度事業報告及び決算報告についての採決

　　　ここで中村事務局長より、Ｒ２－３年度事業報告及び決算報告について採決に移りの参加者役員に諮り

全員の賛同を得て承認された。

1. Ｒ３－４年度事業計画案・予算案の提示

　　 中村事務局長より別紙に基づき、事業計画案を説明。特に運営指針を強調。

 会を取り巻く環境としてコロナ禍が見通せず活動が休止状態となっている現状下、これを機に進行している

　 参加会員の高齢化、逓減化を踏まえ、会存続に向けた改善活動に取り組む。との指針を基本に、「活きた名簿

 　整理」を行い参加会員の掘り起こしをする。具体的実施事項、建築科での取り組みはこのあと別項目で紹介。

　 令和３－４年度予算案については、別紙予算案提示により審議。

　 収入の部では、繰越金、年会費、会議費、広告収入等を含め、912,857円。支出の部は、通信費、交通費、 事

　 務費、その他会費を含め912,857円となる旨提示あり。特に新しい試みとして、交通費の項目で、各部会に

　て会合を持つ場合に交通費を関東同窓会から援助する試みが披露された。新たな活動会員獲得の拡大が目的。

1. Ｒ３－４年度事業計画案・決算書案7についての採決

ここで中村事務局長より、Ｒ３－４年度事業計画案及び予算案について採決がなされ、参加役員全員の賛

-1-

を得て承認された。

８・役員改選について

　　　中村事務局長より、「改選役員名簿　案」提示し、説明。コロナ禍で、会の運営も止まったままでもあり、

大幅な人事は出来ない状況である中の役員改正案である。

会長杉崎さん以下副会長、部会長、理事は現状で継続をお願いしたい。

　オブザーバーの人事に関して、確認がなされた。まず、顧問である成澤學さんは、辞表を以前に提出され

ているとの事ですが、最終確認を杉崎会長の方からするとのこと。

また、相談役の佐藤宏次さんについては、健康上の理由から退任やむなしとの結果になった。

役員については、ほぼ現状役員にてあと二年続行でその任を全うして頂く事になった。

９・Ｒ３－４年度事重点実施事項「参加会員掘起しの件」について討議

　①建築科部会より、荒木部会長が名簿再見直しにつき実施報告。

昨年より今年にかけて、３４０人程の取得していた名簿に関し、建築科役員総出にて、電話作戦を実施し、

生死、不在、参加意向等を調査し、活きた名簿に絞ることが出来た。

荒木部会長がまとめた資料により説明があった。死亡者も多数あり、消去していったところ、活きた名簿と

して１３０名まで絞り込めた。

絞り込んだ名簿を基に、８０才以上の方については、「特別会員」をお願いし新たに７名の方に特別会員に 登

録された。粘り強く電話して対話結果がいい方向に向っている。

　②建築科部会の例を参考に各部会でも、再度「会員名簿見直にチャレンジ」をしていく必要あり。」

役員全員が、人脈、知己、紹介等総動員して同窓会に参加して頂く方を掘り起こしていきたい。

　③ホームページ、電話、Mailを最大限活用し、つながりをもって行くことも必要である。

　④また、各部科部会での対面活動、部会での打ち合わせを積極的に行い、今期予算案でも提示した、交通費・

通信費の援助策も活用したらどうでしょうか。名簿が絞り切れれば、総会の参加有無ハガキも官製でどうか。

　⑤各科部会を２０２２．３．３１までに開催して頂きたい旨、中村事務局長からは提案があった。

　⑥また、中村事務局長からは、狙いの世代（ターゲット）について提案があり、Aとして７０代→５５才

Bとして７０才→５０才の年齢層にターゲットを絞ったどうかとの案もあり。

　⑦また、８０才以上の会員に関しては、関東同窓会として、特別会員になった方に対し「感謝状」を送付して

いるが、評判がいいので継続してたい旨、皆さまの賛同があった。

　⑧Ｒ３－４年度事重点実施事項「参加会員掘起しの件」について討議、検討。第４８回総会について、また、

同窓会の根本的なあり方についての意見交換は、来年2022年１月に役員会及び新年会を兼ねて会合をもっ

て具体化したらどうかとの意見が出て、役員会・新年会を持つことで合意した。

1. 杉崎会長からの報告：上田千曲高校同窓会本部とのやり取りの中での「支部助成金申請について」

去る５月２９日の本校同窓会総会を前にし、深町同窓会長に杉崎会長、中村事務局長、坂田副事務局長が同

席し同窓会本部からの関東同窓会に対する、本校会則に基づく応分の「助成金」を口頭、文書をもって要請

しておりましたが、１０月１３日、NOとの回答を杉崎会長が受けた為の報告となりました。

毎年関東同窓会が総会の時本部より頂いている、100,000円はあくまでもご祝儀であり、支部助成金ではあ

りません。本部の決算上、支部関係費として計上されるのは、疑義が残る。

入学時に徴収する同窓会費は全支部に応分の助成金として分配すべきものではないのかと考える。

関東同窓会の活動費として支出されるべきものではないのかと思う。

「助成金」の要請については、今後も粘り強く求めてまいります。まずは、深町会長の回答文書に対する

反論文書を返送するとの事で話しを前進させて行きたい旨、意志表明ありました。

以上